

# 平成14年度 和歌山県文化奨励賞

## きのした しんいち 木下伸市

住 所：和歌山県和歌山市  
出 身 地：和歌山県和歌山市  
生 年：昭和40年

衆を魅了し、津軽三味線の第一人者として、国内外で絶賛されている。

### ◎業績及び経歴

昭和40年、和歌山市で生まれた氏は、両親の影響で幼少のころより民謡を覚え、17歳でNHK邦楽オーディションに津軽三味線で合格。昭和61年、62年の津軽三味線全国大会で2年連続優勝する。この頃から伊藤多喜雄&TAKIO BANDのメンバーとして、竜童組や坂田明など様々なミュージシャンとジョイントを重ね国内外で幅広い活動を行う。

平成5年には「木下伸市グループ」を結成し、オリジナルの「津軽三味線ロック」を発表。その後、日本を代表するジャズギタリスト渡辺香津美とのバトルコンサート、世界的和太鼓奏者の林英哲とのジョイントなどその活動は止まることがない。

平成12年には津軽三味線全国大会の特別企画である歴代A級チャンピオン山田千里杯争奪戦で初代チャンピオンに輝く。

一方、同年6月にはNHK「課外授業・ようこそ先輩」で、母校和歌山市立大新小学校の子どもたちに津軽三味線を指導するとともに、平成13年、文部科学省主催「伝統音楽研修会」に講師として参加、その映像資料は各都道府県の教育機関に研修用として配布されるなど、次世代を担う子どもたちの教育にも積極的に取り組んでいる。

平成13年には、ファーストアルバム「傳(DEN)」  
「魁(KAI)」の2枚を同時発表している。

伝統芸能である津軽三味線に現代的音楽を取り入れ、新しいジャンルの邦楽を追求する一方、正調津軽三味線のダイナミックかつ繊細な音色は聴

### ■主な表彰歴等

昭和61・62年 津軽三味線全国大会優勝  
平成12年 和歌山市文化奨励賞